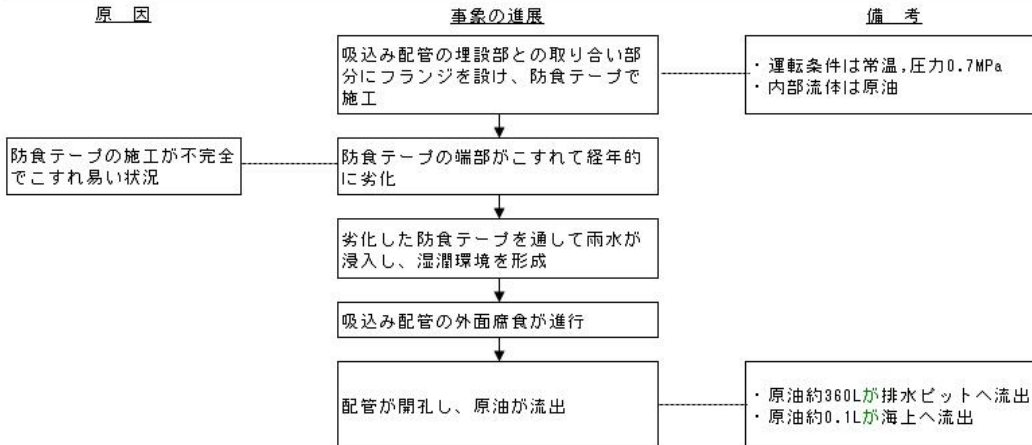




原油移送ポンプ吸込み配管の腐食による原油の流出

事象進展図

00588	原油移送ポンプ吸込み配管の腐食による原油の流出
発災年月日	2010年5月9日
装置	貯蔵・入出荷設備
運転状況	定常運転中・ルーチン作業中
特徴	防食テープの端部がこすれ易く雨水侵入により外面腐食発生、原油漏洩



再発防止対策
① 湿潤環境をつくらないう防食テープを施工 ② 防食テープ施工時に透水防止用の防食剤を塗布 ③ 耐候性のあるポリ塩化ビニールテープで外表面を施工

安全専門家のコメント
配管埋設部との取り合い部分に設けたフランジは、目に着きにくい所にあるために、一度施工を完了してしまうと、管理がおろそかになる恐れがある。このような場所については、保安全管理上注視すべきポイントと位置づけて、定期的な検査を規則化するなど、適切な保安全管理を行うことが望ましい。特に、埋設部との取り合い部では、雨水の跳ね返りと太陽の熱と紫外線とで乾湿の繰り返しが生じ、防食テープの劣化が早く、目視による点検を抜けなく実施することが重要である。

引き金事象発生の原因
・ 防食テープの施工不良 ・ 防食テープの経年劣化

事故の引き金事象
吸込み配管での外面腐食による開孔

事故に関係した直接・間接要因
《情報要因》 プロセス特性・危険性の評価・検討不足



原油移送ポンプ吸込み配管の腐食による原油の流出

添付資料・参考文献・キーワード

参考資料（文献など）

消防

▶ 添付資料

▶ キーワード(> 同義語)

🔑 配管 > パイプ

🔑 外面腐食

🔑 吸込み配管

🔑 貯蔵入出荷設備 > オフサイト設備

🔑 防食テープ

🔑 フランジ

▶ 関連情報